



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月29日

上場会社名 八洲電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3153 URL <https://www.yashimadenki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 太田 明夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部長 (氏名) 松岡 孝明 (TEL) 03(3507)3349
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	24,107	△19.4	△19	—	45	△75.8	4	△94.9
2020年3月期第2四半期	29,923	7.1	122	—	188	244.6	88	△50.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 47百万円(△36.6%) 2020年3月期第2四半期 75百万円(△76.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	0.21	—
2020年3月期第2四半期	4.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	52,496	20,324	38.3
2020年3月期	57,045	20,924	36.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 20,105百万円 2020年3月期 20,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	△10.2	2,350	△6.3	2,450	△7.8	1,650	18.3	76.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 八洲電子ソリューションズ株式会社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	21,782,500株	2020年3月期	21,782,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	242,645株	2020年3月期	190,264株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	21,569,290株	2020年3月期2Q	21,577,082株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算説明資料については、2020年11月25日(水)に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益は大幅な減少となり、各種政策の効果もあり持ち直しの動きがみられるものの、景気の先行きは依然として厳しく不透明な状況が続いております。

このような状況下、鉄鋼・石油・交通業界を中心とした当社グループを取巻く事業環境は、国内需要の低迷が長引き、極めて厳しい状況が続いておりますが、ソリューション・エンジニアリング力の強化とグループ会社の収益力強化を推進し、業績への影響を最小限とすべく事業に取り組んでおります。また、今年度より、グループ全体の技術基盤の拡充を推進するためのエンジニアリング統括本部、各種プロジェクトを推進しグループ全体の事業体制を拡充するためのグループ事業戦略室、グループ全体の仕入先の最適化及び拡大と新規商材の開拓に向けた調達戦略を推進するためのグループ調達本部を新設し、更なる事業規模の拡大と収益力の強化を図っております。

当上期においては、当社グループは第4四半期に売上高及び利益が集中する傾向にあることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による産業機械業界及び交通業界の低迷等や、八洲電子ソリューションズ株式会社の全株式を譲渡し連結の範囲からはずれた影響により、売上高は241億7百万円(前年同四半期比19.4%減)、営業損失は19百万円(前年同四半期は1億22百万円の利益)、経常利益は45百万円(前年同四半期比75.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4百万円(前年同四半期比94.9%減)となりました。なお、下期における売上高及び利益の確実な取込み、並びにグループ全体での原価低減や経費削減を強化することにより、当初の年度見込みを達成する予定であります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、2020年4月より八洲電子ソリューションズ株式会社の株式譲渡に伴い、報告セグメントを従来のものから「電子デバイス・コンポーネント事業」を廃止し、「プラント事業」「産業・交通事業」の2つのセグメントに変更しております。

①プラント事業

鉄鋼・非鉄分野では、鉄鋼分野において市況低迷による設備の休止等が続いているものの、老朽設備の更新や生産能力及び効率の向上、安全確保を目的とした大型案件が予定通り進捗し、売上高は堅調に推移しました。

石油・化学・ガス分野では、石油分野で国内燃料需要の減少と原油価格下落に伴う影響が続いているものの、石油精製設備関連の大型更新工事が予定通り進捗し、売上高は堅調に推移しました。

その結果、プラント事業の売上高は84億4百万円(前年同四半期比2.3%増)、営業利益は5億95百万円(前年同四半期比202.7%増)となりました。

②産業・交通事業

産業機器分野では、新型コロナウイルス感染症による市況悪化の影響で、設備機械関連セットメーカーの生産減少や電気設備業界の再開案件遅延等により、売上高は低調に推移しました。

一般産業分野では、医療及び化学関連顧客の新規設備投資や、セキュリティ事業・ネットワーク事業における新規案件の取込みにより、売上高は好調に推移しました。

空調設備分野では、設備工事案件及び情報通信分野向け特殊空調が予定通り進捗したものの、大口空調機納入案件が減少し、売上高は低調に推移しました。

交通分野でも、新型コロナウイルス感染症による影響を強く受け、列車運行システム関連工事及び受変電設備の大型更新工事が減少し、売上高は低調に推移しました。

その結果、産業・交通事業の売上高は157億2百万円(前年同四半期比13.3%減)、営業利益は4億21百万円(前年同四半期比47.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は524億96百万円で、前連結会計年度末に比べ45億49百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金(95億62百万円から141億28百万円へ45億66百万円増)、未収入金(22億94百万円から45億64百万円へ22億69百万円増)が増加した一方、受取手形及び売掛金(236億71百万円から140億53百万円へ96億17百万円減)、電子記録債権(40億48百万円から23億円へ17億47百万円減)が減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は321億71百万円で、前連結会計年度末に比べ39億49百万円減少しております。主な要因は、前受金(45億13百万円から56億62百万円へ11億48百万円増)、未払金(30億34百万円から49億65百万円へ19億30百万円増)が増加した一方、支払手形及び買掛金(231億52百万円から146億18百万円へ85億34百万円減)、未払法人税等(4億27百万円から1億8百万円へ3億19百万円減)、関係会社株式譲渡損失引当金(4億44百万円減)が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は203億24百万円で、前連結会計年度末に比べ6億円減少しております。主な要因は、配当金の支払による4億31百万円の減少により利益剰余金(184億93百万円から180億65百万円へ4億27百万円減)が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により39億5百万円増加、投資活動により6億35百万円増加、財務活動により1億73百万円減少しました。その結果、現金及び現金同等物は134億9百万円と前連結会計年度と比較して43億67百万円(前年同期は12億32百万円の減少)の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの収入は、39億5百万円(前年同期は2億28百万円の収入)となりました。

これは主に、売上債権の減少額99億3百万円、未払金の増加額21億8百万円がキャッシュ・フローのプラスとなった一方、仕入債務の減少額74億69百万円、たな卸資産の増加額5億75百万円、法人税等の支払額4億84百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの収入は、6億35百万円(前年同期は8億73百万円の支出)となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入1億20百万円、貸付金の減少額7億91百万円、子会社株式の売却による収入4億58百万円がキャッシュ・フローのプラスとなった一方、有形固定資産の取得による支出6億67百万円、無形固定資産の取得による支出57百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの支出は、1億73百万円(前年同期は5億85百万円の支出)となりました。

これは主に、短期借入金の借入による収入5億円がキャッシュ・フローのプラスとなった一方、自己株式の取得による支出75百万円、配当金の支払額4億30百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年7月30日に公表した通りであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,562	14,128
受取手形及び売掛金	23,671	14,053
電子記録債権	4,048	2,300
有価証券	—	100
商品	2,964	2,733
原材料	39	39
未成工事支出金	151	380
仕掛品	305	296
未収入金	2,294	4,564
その他	2,556	2,399
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	45,592	40,995
固定資産		
有形固定資産	7,588	8,031
無形固定資産	419	388
投資その他の資産		
その他	3,449	3,084
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	3,444	3,079
固定資産合計	11,453	11,500
資産合計	57,045	52,496
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,152	14,618
前受金	4,513	5,662
短期借入金	695	695
未払金	3,034	4,965
未払法人税等	427	108
賞与引当金	919	677
関係会社株式譲渡損失引当金	444	—
その他	583	3,333
流動負債合計	33,770	30,059
固定負債		
繰延税金負債	26	26
退職給付に係る負債	2,226	1,994
資産除去債務	16	15
その他	80	75
固定負債合計	2,349	2,111
負債合計	36,120	32,171

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,037	1,037
利益剰余金	18,493	18,065
自己株式	△181	△230
株主資本合計	20,934	20,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	301	246
退職給付に係る調整累計額	△695	△598
その他の包括利益累計額合計	△394	△352
非支配株主持分	384	218
純資産合計	20,924	20,324
負債純資産合計	57,045	52,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	29,923	24,107
売上原価	24,760	19,469
売上総利益	5,162	4,637
販売費及び一般管理費	5,040	4,656
営業利益又は営業損失(△)	122	△19
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	23	20
業務受託料	21	23
その他	26	18
営業外収益合計	74	67
営業外費用		
支払利息	1	0
売上割引	1	1
為替差損	4	0
その他	0	0
営業外費用合計	8	3
経常利益	188	45
特別利益		
投資有価証券売却益	—	67
保険解約返戻金	3	1
その他	—	0
特別利益合計	3	69
特別損失		
会員権売却損	—	5
固定資産除却損	7	0
その他	0	0
特別損失合計	8	6
税金等調整前四半期純利益	184	108
法人税、住民税及び事業税	204	77
法人税等調整額	△102	19
法人税等合計	102	96
四半期純利益	82	11
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	88	4

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	82	11
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△60
退職給付に係る調整額	30	97
その他の包括利益合計	△6	36
四半期包括利益	75	47
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81	46
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	184	108
減価償却費	160	176
有形固定資産除却損	7	0
保険解約返戻金	△3	△1
投資有価証券売却損益(△は益)	0	△67
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△76	△175
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△80	△86
受取利息及び受取配当金	△26	△25
支払利息	1	0
売上債権の増減額(△は増加)	12,940	9,903
たな卸資産の増減額(△は増加)	362	△575
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,057	△7,469
未払消費税等の増減額(△は減少)	△30	△210
未収入金の増減額(△は増加)	1,544	△2,271
未払金の増減額(△は減少)	△2,052	2,108
その他	△94	2,952
小計	778	4,364
利息及び配当金の受取額	26	25
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△574	△484
営業活動によるキャッシュ・フロー	228	3,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期貸付金の増減額(△は増加)	—	791
有形固定資産の取得による支出	△934	△667
無形固定資産の取得による支出	△58	△57
投資有価証券の取得による支出	△17	△15
投資有価証券の売却及び償還による収入	63	120
保険積立金の解約による収入	20	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	458
その他	52	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△873	635
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	500
長期借入金の返済による支出	△140	—
自己株式の取得による支出	—	△75
配当金の支払額	△430	△430
非支配株主への配当金の支払額	△15	△166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△585	△173
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,232	4,367
現金及び現金同等物の期首残高	7,898	9,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,666	13,409

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	プラント 事業	産業・交通 事業	電子デバイス・ コンポーネント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,211	18,109	3,601	29,923	—	29,923
セグメント間の内部 売上高又は振替高	73	125	8	208	△208	—
計	8,285	18,235	3,610	30,131	△208	29,923
セグメント利益	196	799	112	1,108	△985	122

(注) 1 セグメント利益の調整額の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	プラント 事業	産業・交通 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,404	15,702	24,107	—	24,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	132	261	393	△393	—
計	8,536	15,964	24,500	△393	24,107
セグメント利益又は 損失(△)	595	421	1,016	△1,035	△19

(注) 1 セグメント利益の調整額の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2020年4月1日付で、八洲電子ソリューションズ株式会社の株式譲渡に伴い報告セグメントを従来の「プラント事業」「産業・交通事業」「電子デバイス・コンポーネント事業」から「プラント事業」「産業・交通事業」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、株式譲渡前の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。